



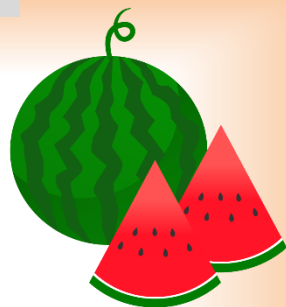
えきや

— 自分で考えて行動する — 第6号



2学期が始まりました

夏休みが終わり、元気なこどもたちが、久しぶりに学校に戻ってきました。「おはようございます。」と大きな声であいさつをしてくれるこどもたち、一回り大きくなったこどもたちとの出会いに元気をもらいました。大きな事故やけがの連絡もなく、みんな元気に夏休みを過ごせたことを何よりもうれしく思っています。保護者・地域の皆様の見守りに感謝いたします。



さて、今日から2学期が始まりました。2学期は、1～4年生は社会見学、5年生は野外活動、6年生は修学旅行、そして音楽発表会・持久走大会などの行事があります。

2学期は1年のうちでも一番長く、心身ともに大きく成長する季節でもあります。学習では、「分かる・できる」喜びや楽しさを実感できる授業をめざしていきます。こどもたちには、規則正しい生活リズムを取り戻し、充実した学校生活が送れるようになって欲しいと願っています。ご家庭でもご協力をお願いします。

人とのかわりと違いの尊重

さて、始業式では、こどもたちに「人とのかわり」について話しました。

.....

クラスの中には、人それぞれ、様々な個性があります。得意なこと、苦手なこと、好きなこと、嫌いなこと、考え方や感じ方も一人一人違います。私たちは、つい自分と同じ考えをもつ人とばかり一緒にいたいと思うことがあります。しかし、それでは新しい発見や学びは生まれません。

ノーベル物理学賞を受賞したアルベルト・アインシュタイン、ドイツ生まれの理論物理学者で、相対性理論など、科学の世界に多大な影響を与えた人物は、次のようなことを言っています。

「もし、魚に木登りをしろと 命じたら、その魚は一生、自分が役立たずだと信じて生きていくだろう。」

この言葉は、大切なことを教えてくれます。私たちは、一人ひとりが異なる才能や個性をもっています。誰かと自分を比較して、「自分はダメだ」と落ち込む必要はありません。そして、相手を自分と同じ尺度で測る必要もありません。



2学期、みなさんにはぜひ、人とのかかわりの中で「**違いを尊重する姿勢**」を大切にしてほしいと思います。

自分とは違う意見をもつ人がいたら、まず話を聞く、耳を傾けてみる。自分と違う才能をもつ人がいたら、その良さを認めて、称賛してみる。互いの違いを認め合うことで、クラス全体がより豊かで、多様性に満ちた場所になります。

今日から2学期のスタートです。今日から始まる学校生活やたくさんの行事の中では、多くの人とかかわりながら取り組んでいきます。人とかかわりの中で、互いに認め合い、優しさや思いやり、感謝の気持ちをもって取り組んでほしいと思います。そうすれば、きっと充実した学校生活が送れるはずです。最後に、学校が始まって何か不安なことや心配なことがあったら、一人で悩まずに、担任の先生や家の人、近くにいる人に相談してください。いつでもみなさんの力になります。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

最後になりましたが、保護者の皆様・地域の皆様、2学期もどうぞよろしくお願いいたします。
(文責 校長)

音楽発表会にかかわって

保護者の皆様にお願ひがあります。これから音楽発表会に向けて各学年で楽器決めをします。本来であれば、全員に希望をする楽器を演奏してほしいところですが、全体のバランスを考えた編成をする必要があります。



また、こどもたちの希望が重複する楽器もありますので、オーディションを行って担当する楽器を決めます。こどもたちには、自分の担当する楽器を責任をもって演奏し、みんなですばらしい合奏を作りあげていこうと伝えています。ご家庭でも、こどもたちが前向きに練習に取り組めるような声かけをしていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。なお、オーディション実施にかかわり、**音楽発表会当日、試合や都合などで欠席される方**は、あらかじめ担任にお伝えください。

グラウンドの一部を舗装しました

正門からグラウンドへ向かうアスファルト部分の拡張・舗装工事を完了いたしました。ただし今後も、アスファルト部分から土のグラウンドへ進入する際、速度が出たまま進入すると、タイヤによってグラウンドの土が削られ、以前のようにグラウンド面がでこぼこになってしまうことが懸念されます(特に雨天時)。



つきましては、グラウンド保護および安全確保のため、**グラウンドの土のエリアに入る際は、時速10km以下の「微速走行」**を行っていただきますよう、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。